

CLOUD TREE

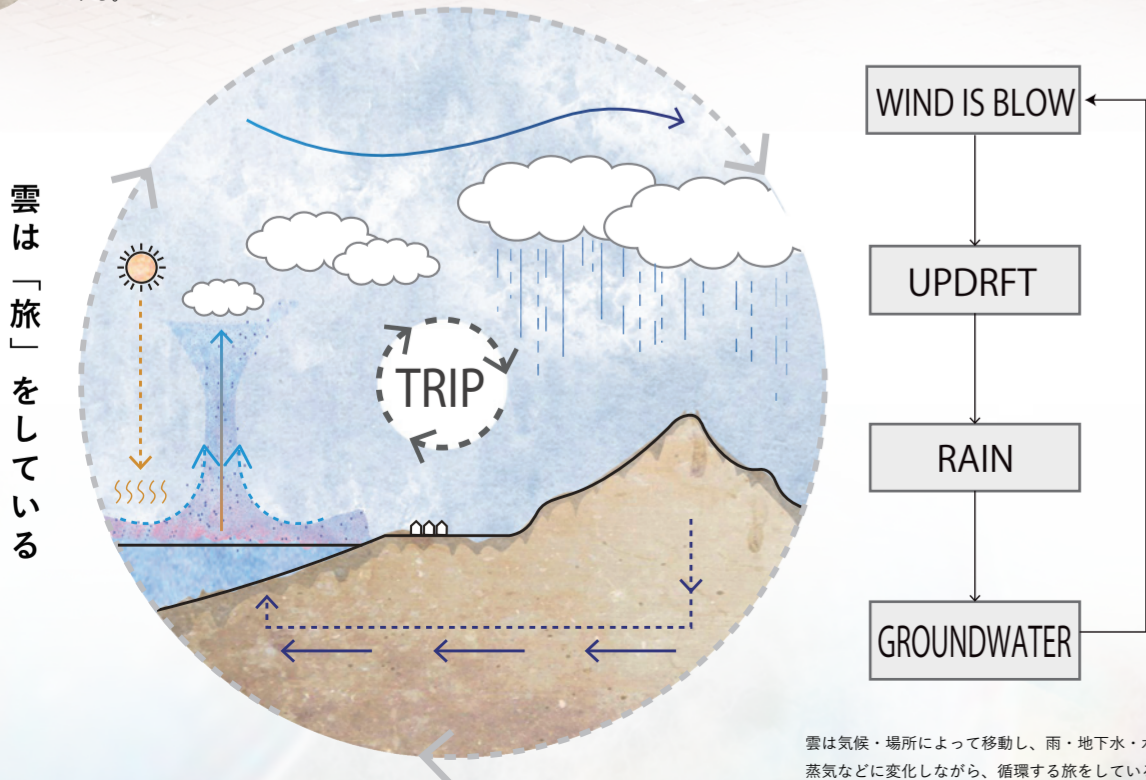
自由気ままに姿形を変えながら、大地を旅した雲は建築となり人々に空間と潤いを与える



PROGRAM

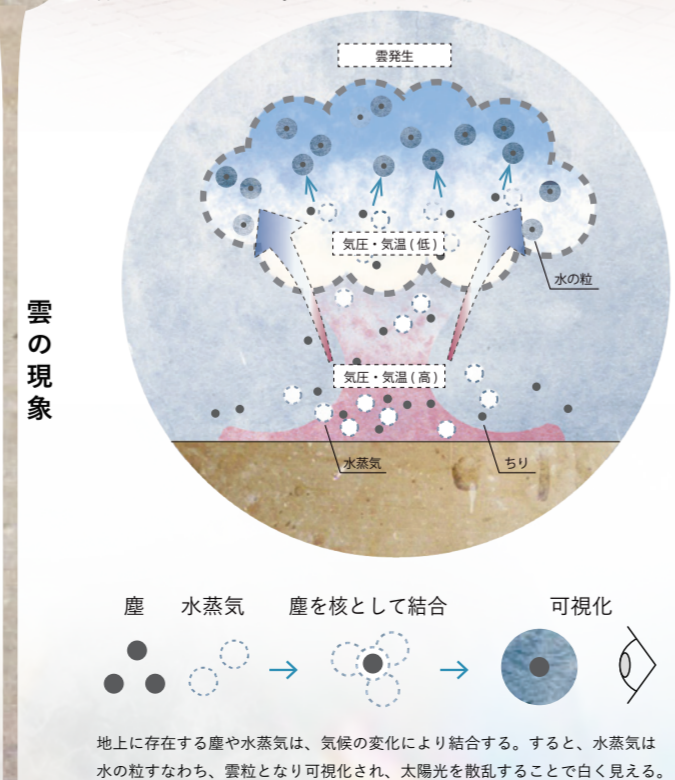
1

雲は「旅」をしている。雲は発生するの消えるのも突発的であり、自由気ままに行く先もあてもなく、気候によって姿形を変えながら様々な場を旅している。私達はこの雲に「旅の建築」としての可能性を見出し、雲建築を生み出すことに挑戦する。



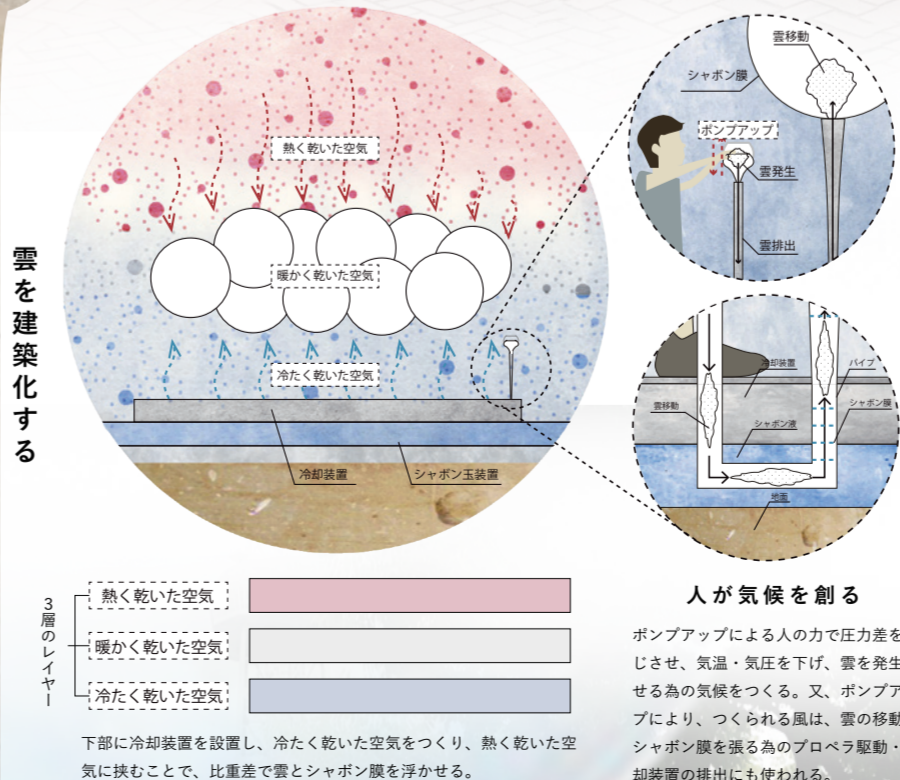
2

雲は空気が上昇気流により上空に打ち上げられ、温度が低下し、飽和水蒸気量を超えることによって発生する水蒸気が空気中の塵と結合することで生まれる。



3

旅する雲を建築化するため、シャボン膜を用いて雲を一定量内包し、二つの気候レイヤによって位置を留めることでアンダーロフの空間を生み出す。風によって雲層根が移動することで物理的な「旅する建築」となり、終尾にはシャボン膜が割れてまた空気中を旅してゆく。



4

本提案は集団でつくり上げることで生まれる体験型の建築である。設置場所を人が集まる公園や広場とすることで更なるアクティビティを誘発し、公共空間の既存価値を高める。



5

空気を加圧することで発生させた雲建築は冷たい空気を内包している。ヒートアイランド現象の深刻化が叫ばれる都市部において、設置場所を高温域が出現する可能性の高い個所に設定した場合、アクティビティを生み出すのみならず、都市を冷やす冷却装置・避暑地のシンボルとして街に貢献する建築となる。

